## がん化学療法レジメン登録票

新規レジメン登録の際にはプロトコールの提出が必須です プロトコールがない場合は参考文献を提出してください

レジメン名	Durvalumab + CDDP + VP-16
診療科名	呼吸器内科
診療科責任者名	大槻 歩
適応がん種	進展型小細胞肺癌(ES-SCLC)
保険適応外の使用	□有 ■無

がん治療ワーキンググループ使用欄			
登録番号	SCLC-024		
登録日・更新日	2020年10月27日		
削除日			
出典	イミフィンジ添付文書 The Lancet, 394(10212), 1929-1939.		
入力者	中川 雄介		

投与順に記入(抗がん剤のみ)

	induction 1コース: 21 日					
	薬剤名:一般名 (薬剤名:商品名)	規格	投与量算出式	投与経路	投与時間	施行日
	希釈液					
No.1	デュルバルマブ(遺伝子組換え) (イミフィンジ点滴静注)	120mg、500mg	1500 mg/body *1	□IV ■DIV □CVポート □側管 □その他( ) 60分以上	60分以上	day1
	生理食塩液	100mL				
No.2	シスプラチン (シスプラチン注)	10mg、50mg	75-80 mg/m <sup>2</sup>	□IV ■DIV □CVポート □側管 □その他( )	2時間	day1
	生理食塩液	500mL				
No.3	エトポシド (エトポシド点滴静注液)	100mg	80-100 mg/m <sup>2</sup>	□IV ■DIV □CVポート □側管 □その他( )	2時間	day1-3
	生理食塩液	500mL				

maintenance 1コース:28 日						
No.1	デュルバルマブ(遺伝子組換え) (イミフィンジ点滴静注)	120mg、500mg	1500 mg/body *1	□IV ■DIV □CVポート □側管 □その他( )	60分以上	day1
	牛理食塩液	100mL				

1コースの期間	induction	21日	
コスの規則	maintenance	28日	
投与間隔の短縮規定	■短縮可能(1日	) • □短縮不可能	
計算後の投与量上限値	11	10%	
計算後の投与量下限値	5	0%	
減量・中止基準	*1 Durvalumab: 体重30kg以下の場合の1回投与量は20mg/kg(体重) 【投与開始基準】 ヘモグロビン値		
前投薬	5-HT3受容体拮抗型制吐剤+デキサメタゾン+ アプレピタント		
その他の注意事項	・生理食塩液又は5%ブドウポ ・デュルバルマブ1500mg及i mg/m <sup>2</sup> 2 を各サイクルの1-3 隔で投与。 ・シスプラチンのハイドレージ	唐注射液の点滴バッグに注入 びシスプラチン75-80mg/m^2	イルター(ポリエーテルスルホン製等)を使用 し、最終濃度を1~15mg/mLとする を各サイクルの1日目に、エトポシド 80-100 4サイクル投与後、デュルバルマブを4週間間 を参照

記入者	中川 雄介
確認者	大槻 歩